

三心を磨く

学校だより NO. 19

平成28年10月19日(水)発行

須坂市立 東 中学校

文責：奥 幸雄(教頭)

<http://www.azuma-school.ed.jp/>

校長講話 10月19日(水) 「自分を自立させるために学ぶ」

みなさん、おはようございます。

10月も半ばを過ぎ、日が暮れるのがとても早く感じる季節になりました。感動の東祭から2週間あまりが過ぎました。みなさんの心の中には、今、どんな余韻が残っているでしょうか。

私は音楽会で、3年生が見事に歌い上げた学年合唱「虹」が、自分へのメッセージとして響き渡り、これから自分が進むべき道を模索している姿が、熱く心に残っています。また、本部会の役員をはじめ、全校のみなさんが各委員会での仕事に本当に責任をもって熱心に取り組んでいる姿が、とても印象的でした。全校生徒が心をつにし、精一杯、生徒会スローガン「全躍」を具現化しようとした姿に、心から拍手を贈りたいと思います。2日間の感動が、そして半年の苦労が凝縮されたあの瞬間、東中学校全員が強い絆でしっかりと結ばれており、まさに「A story we create」であったと思います。全員で創り上げることは、大変なことです。しかし、とても素晴らしく、素敵なことだと、しみじみ思いました。一人では自分に甘えてしまい、途中で投げ出してしまうことも多いのに、みんなと一緒にならできてしまう。質の良い集団をめざしていくと、そこには時として思いがけない力が生まれることがあります。一人では決して行けない世界を見ることができます。一人一人が、自分の所属する集団をよくしようという気持ちに包まれたとき、実はそれは自分のためにもなっていくことを忘れてはなりません。良い集団は誰かが創ってくれるものではありません。自分が創る一員であることを忘れないでください。まさに「we create」です。

また、先週の金曜日に行われました「市内卒業学年親善音楽会」では、3年生が見事な歌声を披露してくれました。教育長の小林先生からは、「どのパートも人に頼らず、自分で自分の声を出すんだという決意を感じ、完成度の高い優れた合唱でした」という講評をいただきました。3年生のみなさんが、今の自分たちにしかできない合唱を作り上げてくれたことに、心から感謝と拍手を贈りたいと思います。ありがとうございました。

さて、今日は「何のために学ぶのか」と言うことについて、話をします。

みなさんにとって、少し厳しい話をしますので、目と心をそらさないで聞いてください。そして、自分のこととして考えてください。

おととい、学校だよりでもお知らせしましたが、4月に3年生が行った「全国学力・学習状況調査」の結果が公表されました。学力調査に関しては、本校は決して満足できる結果ではありませんでした。むしろ、厳しい結果と言った方がよいかもかもしれません。それでも調査の一部では、3年生のみなさんの頑張りが発揮された問題もあり、日頃からの学習の成果がでていたことが分かりました。

私が、今日、みなさんに考えて欲しいのは、学力調査と一緒に行われた、日頃の学習への取組を見る学習状況調査についてです。この調査では、授業への参加状況、家庭学習やゲーム、読書に費やす時間などが調べられています。本校の特徴としては、毎日の宿題や予習、復習などの家庭学習の時間が、全国平均や長野県平均と比べて極端に少なく、逆に、ゲームやテレビ、インターネットやメールなどに費やす時間が、大変多いということです。これは3年生だけの調査ですが、各教科担任の先生に聞いたところ、1・2年生でも、毎日の1Pノートや宿題の提出率は、決してよいものではないという報告を受けています。

また、今年から始めた、信毎「斜面」の書き写しにしても、最初は一生懸命に書き写して感想まで書いて提出していた人がたくさんいましたが、提出する人がだんだんと少なくなったり、書き写すのがめんどろになったのか、ただ「斜面」を貼って提出するだけになっている人が多くなったりしてきています。

みなさん、今の自分はどうですか。各教科から出された宿題は、きちんとやっていますか。自分の力を伸ばすために、宿題だけでなく、予習や復習、自主学習をしていますか。週に1回の「斜面」の書き写しを続けていますか。4月に配布した「家庭学習の手引き」にあるように、1年生、2年生は、最低でも1時間半、3年生は、2時間～3時間の家庭学習をしていますか。

みなさん、みなさんは何のために勉強していますか。

先週行われた学習オリエンテーションで、斉藤先生からもお話がありました。

「いい成績をとるため」でしょうか？ 「いい学校へ入るため」でしょうか？

「いい会社に入るため」でしょうか？ 「身に着けた知識を社会に役立てるため」でしょうか？

「人間的に強くなるため」でしょうか？ 「考える力をつけるため」でしょうか？

私は、どれも間違っていないと思います。人それぞれ、その時その時の置かれた状態によって、勉強することの意味は違って来るかもしれません。3年生は、半年後に迫った高校入試を考えれば「いい成績をとるために勉強する」「自分の希望する高校に入るために勉強する」ということが、今の勉強する理由になります。

私は、数学の教師です。以前、生徒から「どうして、数学なんか勉強するのか。世の中にでれば使わないものばかりだ。こんなことを勉強しても意味がない」と、よく言われました。みなさんの中には、同じように思っている人もいます。そこで、2つのことで反論します。

一つは、本当に世の中では、今学習している数学は使いませんか。どうして「世の中にでれば、仕事に就けば、今勉強している数学は使わない」と言えるのでしょうか。仕事について、働いてもみないうちから、どうしてそのようなことが分かるのでしょうか。

二つは、今、私が話した一つ目の反論が理由です。人から何か言われたときに、知識や考える力がなければ、反論することはできません。自分では、おかしい、納得できないと思っても、それを筋道立てて、根拠を示しながら論理的に反論できなければ、その人のいいなりになってしまいます。物事を自分の頭で考え、自分の言葉で、自分の意思を、自分の考えを伝えることができるようにならなくてはなりません。言い換えれば、勉強することは、自分という人間を、自立させるためです。

私は、みなさんに声を大にして言います。中学、高校、大学などの学生の時期は、勉強する時期です。今、勉強しなくて、いつ勉強するつもりですか。苦手なこと、めんどろなことから逃げていて、いいのですか。

ラグビーワールドカップで活躍した五郎丸選手も、以前にヘッドコーチから、「お前が変えないといけないのは、今だ。今を変えなければ、未来は変わらない」と言われ、その日から、自分の練習への気持ち、態度を変えて、今の自分を創り上げたと言っています。今を変えなければ、未来は変わりません。苦手なことから逃げずに、取り組む自分になってください。

最後に、書家であり詩人である「相田みつお」さんが、書いた詩がありますので、紹介します。

そのうち そのうち べんかいしながら 日がくれる

そのうち そのうち べんかいしながら 日がくれる

中学校3年間は、短いものです。それゆえに、大変貴重な時間でもあります。「そのうちに、そのうちに」で無駄にしてしまうことのないように、自分自身を振り返り、今の自分を変える勇気を持ってください。そして、勉強してください。終わります。